
館園名 : 群馬県生涯学習センター少年科学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1987年10月28日

所在地

・〒371-0801 群馬県前橋市文京町二丁目19番18号

公式サイト

・<http://www.manabi.pref.gunma.jp/syonen/>

設立主体

・群馬県

運営主体

・財団法人 群馬県教育文化事業団

設立目的

・県民の生涯にわたる学習活動を促進し、もって県民文化の創造及び振興に寄与するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条の規定に基づき、群馬県生涯学習センター（以下「生涯学習センター」という。）を前橋市に設置する。

展示概要

・科学展示室（産業、科学技術・原理に関する展示物）。プラネタリウム直径18m200席・科学実験室36席。

活動概要

・科学展示室運営（実験コーナーによる科学実験・工作）。
プラネタリウム運営（季節番組（年4回）・学習番組の投影、星と音楽の夕べ）。
科学実験室運営（おもしろ科学教室の実施、科学教室指導者実技研究会、児童生徒理科研究作品展・相談会）・おもしろ科学教室指導資料集の発行。

延床面積

・658 m²

全職員数（常勤職員）

・5名（2004年12月現在）

年間運営費

・13,129,000円（2003年度）（人件費・整備点検のための費用は別途）

総資料点数

・ 点（ 年 月現在）

※資料の収集は、おこなっていません。子供用の科学VTR、CD、DVD、図書等は収集し、閲覧できるようになっている。VTR、CD、DVD約300点 図書・雑誌約2,000点。

施設その他

・合併、指定管理者制度を見越して、運営方針や事業内容の見直しを行っている。

2. ボランティア活動 名称：群馬県生涯学習センター・サイエンスインストラクターの会

活動目的・経緯

- ・県内各機関の在学青少年を対象とする科学事業への協力を通して、県内各地域の生涯学習ボランティア活動の推進に寄与するとともに、在学青少年に、自然を対象とする学習の楽しさを体験させ、「科学する心」の育成を図るために、自然の不思議さや面白さに触れる機会の拡大を図ることを目的とする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 254名（2004年3月現在）
- ・ 男性： 219名、女性： 35名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（非常勤）2名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 科学教室の講師・運営・補助スタッフ。
- ・ 指導者のための実技研修会の開催。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により運営。活動を円滑に行うため、本部事務局を館内において、常勤職員1名が本部事務局を担当している。
- ・ 県内各地で、科学教室が行えるよう、五支部を設け、各支部に支部長、事務局長を置いて、事務局長を中心に県内各地での科学教室の運営を行っている。

関連する出版物

- ・ 「おもしろ科学教室」指導資料集（年1回発行）

関連するHP

- ・ <http://www.manabi.pref.gunma.jp/syonen/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①おもしろ科学教室の企画・運営

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1991 年

◇活動人数

- ・ 254 名（2004 年 3 月現在）

◇活動内容

- ・ 土に県内各地で行うおもしろ科学教室の企画・運営を行う。

◇活動日

- ・ 土曜日を中心に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 特別な補助は、おこなっていない。

◇運営（シフト 等）

- ・ 各支部の代表が集まって、全体の計画を立てている。各支部と本部の計画を合わせたものが全体の計画になっている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 総会を年 1 回開催、役員会を年 3 回開催、実技研修会を年 2 回開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 特に広報はしていない。
- ・ 各支部の支部長・事務局長よりの推薦。
- ・ 定年制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 実技研修会を年 2 回開催。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費のみ実費で支給。（県の規定に準じて支給）

◇評価

- ・ 本部役員（支部長が兼務）が退任するとき、感謝状を贈る。

◇課題と展望

- ・ 学校の教員（理科）が多いので、いろいろな技能・技術を持った人の会への参加。
- ・ 退職した人の活躍の場の確保と、若い人材の加入者促進。

◇その他

- ・ 会員の高齢化と活動する会員の固定化が課題である。

.....

館園名 : 群馬県立近代美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1974年10月17日

所在地

- ・ 〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1

公式サイト

- ・ <http://www.mmag.gsn.ed.jp/>

設立主体

- ・ 群馬県

運営主体

- ・ 群馬県

設立目的

- ・ 優れた芸術作品の展示と幅広い美術館活動により、県民にうるおいのある生活を提供し、県民文化の向上を図ることを目的としている。

展示概要

- ・ 戸方庵井上コレクションと称する日本と中国の古美術のコレクション229点をはじめ、群馬県出身の画家である山口薫、福沢一郎、鶴岡政男、オノサト・トシノブらのコレクション、日本近代洋画と西洋近代美術、第2次世界大戦後の現代美術、ファイバーワークなど、幅広く収蔵・展示。

活動概要

- ・ 学芸員による解説会、講演会、連続美術講座、友の会公開講座、サンデーギャラリートーク、こどもギャラリートーク、ミュージアム・オリエンテーリングなど。

延床面積

- ・ 12,530.94 m²

全職員数

- ・ 28人(2004年度)

年間運営費

- ・ 約168,554千円(2004年度)

総資料点数

- ・ 1,699点(2003年度)

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：群馬県立近代美術館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1993 年、群馬県の生涯学習におけるボランティア活動の重視という施策を受け、募集。定員 30 名に対して 408 名の応募があったが、特別な選考は行わず、研修講座参加者を登録する形とした。最終的に 200 余名により活動開始。活動内容はインフォメーション、資料整理、展示解説の 3 部門で重複活動可能。2000 年からは活動者内から募集する夏期教育普及展覧会でのイベントサポートを行っている。管理・運用は美術館が直接行っているが、ボランティア内の連携の向上を目指し、2001 年にボランティア連絡会が発足。各班長から構成される連絡会の中から選ばれた幹事が月 1 回程度集まり美術館との連絡調整を行い、学習・研修の機会を増やすとともに、ボランティアニュースの作成など活動を活性化させている。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 130 名（2004 年）
- ・ 男性：26 名、女性：104 名（2004 年）
- ・ 平均年齢 59 歳：男性 64 歳、女性 54 歳（2004 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：総務普及グループ 担当人数：常勤 2 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①インフォメーション部門、②資料整理部門、③作品解説部門、④イベントのサポート。

活動その他

- ・ 館により運営。
- ・ 活動日ごとに班を作り、班別に活動（24 班）。
- ・ 2 週間に 1 度、半日の活動を基本とする。
- ・ 全体会・懇親会を開催（年 1 回）。
- ・ ボランティア連絡会を開催（年 2～3 回）。
- ・ ボランティア連絡会幹事会を開催（月 1 回程度）。
- ・ 不定期に、一般公募を行う。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 館が研修を実施。
- ・ ボランティアニュース（手刷り）を隔月で発行（2004 年度より）。
- ・ 他館への見学研修を実施（年 1 回）。

関連する出版物

- ・ 群馬県立近代美術館ボランティア 10 周年記念誌

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①インフォメーション部門

◇活動開始年

- ・ 1993年

◇活動人数

- ・ 73名(2004年)

◇活動内容

- ・ 館内案内。
- ・ 情報の提供。

◇活動日

- ・ 開館日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ 専用のインフォメーション・カウンターで活動。
- ・ 予算は特になし。必要に応じて消耗品等を支給。
- ・ 名札支給。
- ・ 控え室有り。

◇運営(シフト等)

- ・ 2週間に半日の班活動。
- ・ 編成は活動者の希望を受け、館で決定。

◇交流(情報、組織等)

- ・ 必要に応じて研修会を実施。
- ・ その他、交流は全体に同じ。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 全体に同じ。

◇研修(種類、内容、講師等)

- ・ 全体に同じ。

◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ ボランティア保険に加入(友の会協力による)。
- ・ 活動日に限り展示見学可能(学習目的。隣接する歴史博物館も見学可能)。
- ・ その他、交通費等は支給していない。

◇評価

- ・ 増築等により館内動線が複雑なため、入口での誘導・案内は重要。きめ細やかな対応によって美術館活動に貢献。

◇課題と展望

- ・ 欠席時の対応が未整備。

◇その他

- ・

活動個別シート ②資料整理部門

◇活動開始年

- ・ 1993年

◇活動人数

- ・ 64名(2004年)

◇活動内容

- ・ 新聞記事のスクラップ。
- ・ 展覧会案内ハガキの整理。

◇活動日

- ・ 開館日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア控え室で活動。
- ・ 予算は特になし。必要に応じて消耗品等を支給。
- ・ 名札支給。

◇運営(シフト 等)

- ・ 2週間に半日の班活動。
- ・ 編成は活動者の希望を受け、館で決定。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 必要に応じて研修会を実施。
- ・ その他、交流活動は全体に同じ。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 全体に同じ。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 全体に同じ。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入(友の会協力による)。
- ・ 活動日に限り展示見学可能(学習目的。隣接する歴史博物館も見学可能)。
- ・ その他、交通費等は支給していない。

◇評価

- ・ 美術館の基礎資料の作成に貢献。

◇課題と展望

- ・ 近年休館日が増えたため、作業が滞ることが多い。
- ・ 活動者内に、蓄積した資料の活用を望む声がある。

◇その他

- ・

活動個別シート ③作品解説部門

◇活動開始年

- ・ 1994 年

◇活動人数

- ・ 31 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 常設展示の解説。
- ・ 時間に始まるツアー形式ではなく、声掛け等による対話型解説を行っている。

◇活動日

- ・ 開館日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 予算は特になし。必要に応じて消耗品等を支給。
- ・ 名札支給。
- ・ 控え室有り。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 2 週間に半日の班活動。
- ・ 編成は活動者の希望を受け、館で決定。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 必要に応じて研修会を実施。
- ・ 有志により勉強会を開催 (月 1 回程度)。
- ・ 展示替え時の担当学芸員による説明会を不定期に開催。
- ・ その他、交流活動等は全体に同じ。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 不定期に活動者内から募集。
- ・ 指定研修を規定回数参加、課題提出、実地演習、認定試験 (発表)。
- ・ 任期なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 当館学芸員による収蔵作品についての研修 (7~8 回)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (友の会協力による)。
- ・ 活動日に限り展示見学可能 (学習目的。隣接する歴史博物館も見学可能)。
- ・ その他、交通費等は支給していない。

◇評価

- ・ 職員では対応しきれない団体以外の来館者への対応で貢献。
- ・ 来館者に近い目線で解説を行うことによって、美術館への親近感を増す役割を果たしている。

◇課題と展望

- ・ 欠席時の対応が未整備。

◇その他

- ・

活動個別シート ④イベントのサポート

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 24 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 夏期教育普及的展覧会開催時に会場内や関連事業のサポートを行う。

◇活動日

- ・ イベント開催時 (夏期)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 特になし。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 各イベントに必要な人数を全活動者内から募る。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 特になし。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 展覧会の開催される 1~2 ヶ月前に全ボランティアに告知を行う。
- ・ 受付は先着順。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 美術館職員を講師に、サポート内容についての研修を行う。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 特になし。
- ・ 年によってはスタッフグッズ (Tシャツ・バッジ等) を支給する場合あり。

◇評価

- ・ イベントや参加型作品など、大勢のスタッフが必要なこども向け事業については、ボランティアのサポートが無ければ成り立たないほど、大きく助けられている。

◇課題と展望

- ・ 現在は完全に館からの依頼によるサポート活動となっているが、今後、イベント内容を検討する段階で参加してもらうなど、発展可能な活動である。

◇その他

- ・

館園名 : 群馬県立自然史博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1996年10月22日

所在地

- ・ 〒370-2435 群馬県富岡市上黒岩 1674-1

公式サイト

- ・ <http://www.gmnh.pref.gunma.jp/>

設立主体

- ・ 群馬県

運営主体

- ・ 群馬県

設立目的

- ・ 自然環境などの理解と学習する場として自然史系博物館の構想が生まれ、1982年に開館した県立自然科学資料館の資料と県立歴史博物館の自然部門の資料を合わせ、自然科学資料館の発展拡充のため設置。

展示概要

- ・ 古生物標本、岩石・鉱物標本、人類標本、骨格標本、剥製標本、昆虫標本、植物標本、菌類標本など、39,000点収蔵。
- ・ 本館の展示は、地球の時代、群馬の自然と環境、ダーウィンの部屋、自然界におけるヒト、かけがえのない地球の5部門で構成。

活動概要

- ・ 企画展、自然観察会、天体観望会、自然史講座、講演会、サイエンスサタデーなど。
- ・ 博物館だより、企画展図録、研究報告書、年報を出版。

延床面積

- ・ 12,122.38㎡

全職員数

- ・ 29名（嘱託職員11名を含む）

年間運営費

- ・ 187,207千円（正規職員の給与費、付帯ホールは含まない）

総資料点数

- ・ 3,363点（常設展のみ）

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：県立自然史博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1997年3月、活動開始。
- ・ 展示解説ガイド、実験観察（展示コーナーでの演示実験補助）、情報（図書の整理）、郵送（ポスターやパンフの発送作業）の4部門（1997年）。
- ・ 解説、情報、資料整理、郵送、サタデーの5部門（2002年）。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 87名（2004年）
- ・ 男性：39名、女性：48名（2004年）
- ・ 平均年齢52.5歳：男性 歳、女性44.9歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：総務普及グループ 担当人数：常勤 2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①解説部門、②情報部門、③資料整理部門、④郵送部門、⑤サタデー部門。

活動その他

- ・ 博物館により運営。
- ・ ほとんどの活動者は、土日を中心に、月1、2回活動。
- ・ ボランティア推進費として、113,000円を計上。
- ・ 各部門共通のボランティア控え室あり。
- ・ ボランティア全体会を開催。
- ・ 年度初めに募集について検討し、必要があれば6月中旬頃からホームページ、新聞などで募集。
- ・ 資格：高校生以上。研修を受けられる人。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 職員により、養成研修を実施（2時間×8回）。
- ・ 職員・ボランティアにより、基礎学習会を実施。
- ・ 自己負担により、希望者がボランティア保険に加入。
- ・ 友の会に入会できる（入会金は、友の会が補助）。
- ・ ボランティアについて、職員が理解を深める必要がある。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www.gmnh.pref.gunma.jp/volunteer/index.html>

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①解説部門

◇活動開始年

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 33名（2004年）

◇活動内容

- ・ 館内の常設展示の特定コーナーで、一般来館者に解説を行う。

◇活動日

- ・ 土・日・祝日を中心に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア推進費として、113,000円を計上。
- ・ 各部門共通のボランティア控え室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 月ごとの活動予定表を立て、各自都合の良い日に活動する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年度初めに募集について検討し、必要があれば6月中旬頃からホームページ、新聞などで募集。
- ・ 資格：高校生以上。研修を受けられる人。定年制、任期制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 新規ボランティアの、職員による養成研修を実施（2時間×8回）。
- ・ 職員・ボランティアにより、基礎学習会を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 自己負担により、希望者がボランティア保険に加入。
- ・ 友の会に入会できる（入会金は、友の会が補助）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動者が減少してきている。

◇その他

- ・

活動個別シート ②情報部門

◇活動開始年

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 5名(2004年)

◇活動内容

- ・ 館内の情報コーナーにおける図書の閲覧指導や、情報システム利用者への支援を行う。

◇活動日

- ・ 土・日・祝日を中心に活動。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア推進費として、113,000円を計上。
- ・ 各部門共通のボランティア控え室あり。

◇運営(シフト 等)

- ・ 各自都合の良い日に活動する。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年度初めに募集について検討し、必要があれば6月中旬頃からホームページ、新聞などで募集。
- ・ 資格：高校生以上。研修を受けられる人。定年制、任期制なし。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 新規ボランティアの、職員による養成研修を実施(2時間×8回)。
- ・ 職員・ボランティアにより、基礎学習会を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 自己負担により、希望者がボランティア保険に加入。
- ・ 友の会に入会できる(入会金は、友の会が補助)。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ ボランティアが、やりがいをもって活動できる場となっていないため、来年度より廃止予定。

◇その他

- ・

活動個別シート ③資料整理部門

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 7 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 博物館収蔵資料の標本管理の補助を行う。

◇活動日

- ・ 不定期に活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア推進費として、113,000 円を計上。
- ・ 各部門共通のボランティア控え室あり。

◇運営 (シフト 等)

- ・ ボランティアと担当職員で、日程を調整して活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年度初めに募集について検討し、必要があれば6月中旬頃からホームページ、新聞などで募集。
- ・ 資格：高校生以上。研修を受けられる人。定年制、任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 新規ボランティアの、職員による養成研修を実施 (2 時間×8 回)。
- ・ 職員・ボランティアにより、基礎学習会を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 自己負担により、希望者がボランティア保険に加入。
- ・ 友の会に入会できる (入会金は、友の会が補助)。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 今年度、新規ボランティア 3 名が加わったので、意欲的な活動が期待される。

◇その他

- ・

活動個別シート ④郵送部門

◇活動開始年

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 20名(2004年)

◇活動内容

- ・ 博物館だより、チラシ、ポスター等の発送作業を行う。

◇活動日

- ・ 年3回、金、土、日曜日を中心に活動。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア推進費として、113,000円を計上。
- ・ 各部門共通のボランティア控え室あり。

◇運営(シフト 等)

- ・ 年3回、発送作業日前に活動希望調査を行い、各自都合の良い日に活動する。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年度初めに募集について検討し、必要があれば6月中旬頃からホームページ、新聞などで募集。
- ・ 資格：高校生以上。研修を受けられる人。定年制、任期制なし。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 新規ボランティアの、職員による養成研修を実施(2時間×8回)。
- ・ 職員・ボランティアにより、基礎学習会を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 自己負担により、希望者がボランティア保険に加入。
- ・ 友の会に入会できる(入会金は、友の会が補助)。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ ボランティアが高齢化している。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤サタデー部門

◇活動開始年

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 42名(2004年)

◇活動内容

- ・ 毎週土曜日に、博物館の実験室や、館周辺の里山・小沼を活用し、地学・生物関連の楽しめる実験・観察・物づくりなどを行い、その指導を行う。

◇活動日

- ・ 毎土曜日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア推進費として、113,000円を計上。
- ・ 各部門共通のボランティア控え室あり。

◇運営(シフト 等)

- ・ 3ヶ月ごとに活動希望調査を行い、4~10人でチームを組んで活動する。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 毎回、サイエンスサタデー実施前に、事前打合せを行う。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年度初めに募集について検討し、必要があれば6月中旬頃からホームページ、新聞などで募集。
- ・ 資格：高校生以上。研修を受けられる人。定年制、任期制なし。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 専門研修(メニュー研修)、基礎学習会を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 自己負担により、希望者がボランティア保険に加入。
- ・ 友の会に入会できる(入会金は、友の会が補助)。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動者が固定化してきている。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 群馬県立館林美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2001年10月26日

所在地

・ 〒374-0076 群馬県館林市日向町2003

公式サイト

・ <http://www.gmat.gsn.ed.jp>

設立主体

・ 群馬県

運営主体

・ 群馬県

設立目的

・ 群馬県立近代美術館のある高崎市から遠隔地にあたる東部地域に位置し、より多くの県民の方々に美術作品鑑賞の機会を提供することを目的とする。

展示概要

・ 主に近現代の美術作品を扱う。本館のテーマである「自然と人間との関わり」を中心に据え美術作品を幅広く紹介する「企画展示」及び、群馬県のコレクションの中から選りすぐった作品をテーマごとに紹介する「コレクション展示」等をおこなう。

活動概要

- ・ 企画展示を年3回実施。それ以外の時期にコレクション展示を実施。
- ・ 展示活動とリンクしたワークショップ、講演会、美術講座のほか、子どもミュージアムスクール等の教育普及事業を実施。
- ・ 図録、年報、館ニュース、紀要等を発行。

延床面積

・ 6,856.47 m²

全職員数（常勤職員）

・ 12名（2005年1月現在）

年間運営費

・ 194,134,000円（2003年度）（人件費を除く）

総資料点数

・ 588点（2004年3月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：なし

活動目的・経緯

- ・本館におけるボランティア導入は、作家の現地制作補助や、教育普及事業の活動補助として適宜募集するかたちをとっている。恒常的にボランティアスタッフを受け入れるかどうかについては、現在の体制を継続しつつ検討したい。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 57 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 9 名、女性： 48 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：総務普及グループ
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（適宜他の職員がサポートする） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・企画展「木でつくる美術」における作家の現地制作補助（設置及び撤去）。
- ・企画展「木でつくる美術」におけるイベント「みんなのアトリエ」活動補助。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・なし

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・なし。

活動個別シート 活動名：①企画展「木でつくる美術」における作家の現地制作補助（設置及び撤去）

◇活動開始年（西暦）

- ・2004年

◇活動人数

- ・49名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・岡部玄氏（造形作家）による、流木を使った巨大なドームを中心とした制作の補助。
（流木の運搬、結束補助、掃除など）

◇活動日

- ・2004年6月15日～25日（20日は休み）、9月6～9日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・軍手や掃除用具を館費で負担。ボランティア室も使用可。

◇運営（シフト 等）

- ・参加希望日を予め伺い、作業スケジュールを館側で作成。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・1ヶ月前から、新聞・雑誌等に募集についての記事掲載を依頼。また公式HPでも募集を告知。
・高校生以上であれば誰でも参加可能。30名程度の参加を見込む。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・オリエンテーションを実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・イベント保険に加入。費用は館負担。

◇評価

- ・なし。

◇課題と展望

- ・常連も増えてきているが、活動を広げていくだけの人数が集まっていない。さらに地道な活動を続けながら、今後の展開を見きわめたい。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②企画展「木でつくる美術」におけるイベント「みんなのアトリエ」活動補助

◇活動開始年（西暦）

- ・2004年

◇活動人数

- ・8名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・木を素材としてかんたんな造形を楽しむ「みんなのアトリエ」の会場準備、参加者の制作補助、後片付け。

◇活動日

- ・7月1日～8月26日の毎週木曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・活動に必要な道具類は館費で負担し購入。

◇運営（シフト 等）

- ・参加希望日を予め伺い、作業スケジュールを館側で作成。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・1ヶ月前から、新聞・雑誌等に募集についての記事掲載を依頼。また公式HPでも募集を告知。
- ・中学生以上、約20名。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・オリエンテーションを実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・交通費、保険等の負担はなし。

◇評価

- ・なし。

◇課題と展望

- ・常連も増えてきているが、活動を広げていくだけの人数が集まっていない。さらに地道な活動を続けながら、今後の展開を見きわめたい。

◇その他

・

.....

館園名 : 群馬県立土屋文明記念文学館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1996年07月11日

所在地

- ・ 〒370-3533 群馬県群馬郡保渡田 2000

公式サイト

- ・ <http://www.bungaku.pref.gunma.jp>

設立主体

- ・ 群馬県

運営主体

- ・ 群馬県

設立目的

- ・ 歌人土屋文明の業績を顕彰するとともに、地域文化の振興と生涯学習時代のニーズに応えた開放型文学館。

展示概要

- ・ 収蔵資料点数 138,722 点（土屋文明関係 4,852 点・近代文学関係資料 133,870 点）
- ・ 常設展示：①土屋文明の生涯と作品を紹介、②短歌の世界（歌人 36 体の人形を中心に、その歴史と魅力を紹介）。
- ・ 特別展示：群馬県ゆかりの主要作家や特別コレクション資料、入れ替え展示。
- ・ 企画展示：詩歌文学や近代文学など幅広いテーマの企画展、特別展を年間 3～4 回開催。

活動概要

- ・ 月例文芸講座、古典入門講座、企画展・特別展記念講演会、学芸員セミナー、普及図書作成、資料閲覧サービス、ボランティア養成など。

延床面積

- ・ 3,171 m²

全職員数

- ・ 21 名

年間運営費

- ・ 約 80,000 千円

総資料点数

- ・ 138,722 点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：群馬県立土屋文明記念文学館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 館と協力して県民のための文学活動を促進し文学に対する理解と関心を深めるとともに地域文化の向上に資することを目的として、1997年活動が開始された。その後、館の事業にあわせて活動内容を一部変更しつつ現在に至る。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 85名（2005年4月）
- ・ 男性： 17名、女性： 68名（2005年4月）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：総務普及グループ 担当人数：常勤 1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示解説、②ミュージアムショップ、③閲覧室受付、④クリーンキープ、⑤ティーサービス、⑥イベント補助、⑦広報。

活動その他

- ・ ローテーションで活動するグループ、不定期に活動するグループ、活動日を設定するグループがある。
- ・ グループにより異なるが、1人月2～3回、半日（4時間）の業務を行う。
- ・ ボランティア活動の評価をどのように行うか、検討する必要がある。
- ・ ボランティアの意欲をどのように持続させるか、検討する必要がある。
- ・ 活動のコーディネートの方法について、検討する必要がある。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート 活動名：①展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 4 名（2005 年 4 月）

◇活動内容

- ・ 観覧者に常設展示の解説を行う。

◇活動日

- ・ 土、日、月曜日を中心に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 他のボランティアと共同のボランティア室を利用。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1 人当たり週 1， 2 日。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年度当初に年間の活動計画を話し合う。
- ・ 活動日誌を作成。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 群馬県ホームページ等に掲載。
- ・ 選考基準は特に設けていない。
- ・ 定年、任期はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している（費用は館が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動するメンバーが固定化してきていたため、改めて全員を対象に勉強会を実施することとした。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②ミュージアムショップ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 10 名（2005 年 4 月）

◇活動内容

- ・ ミュージアムショップの運営を行う。

◇活動日

- ・ 毎月第 2 木曜日に集会、作業、会議等を行う。
- ・ 年 2 回、館内ホールでコンサートを企画、実施している。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 他のボランティアと共同のボランティア室を利用。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 活動日誌を作成。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 群馬県ホームページ等に掲載。
- ・ 選考基準は特に設けていない。
- ・ 定年、任期はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している（費用は館が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：③閲覧室受付

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 10名（2005年4月）

◇活動内容

- ・ 閲覧室で利用案内等を行う。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動（休館日を除く）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 他のボランティアと共同のボランティア室を利用。

◇運営（シフト 等）

- ・ 月間のローテーションを組んでいる。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年度当初に年間の活動計画を話し合う。
- ・ 活動日誌を作成。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 群馬県ホームページ等に掲載。
- ・ 選考基準は特に設けていない。
- ・ 定年、任期はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している（費用は館が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動開始当初よりもメンバーが少なくなっている。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：④クリーンキープ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 6 名（2005 年 4 月）

◇活動内容

- ・ 館周辺の清掃を行う。

◇活動日

- ・ 毎月第 2、第 4 土曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 他のボランティアと共同のボランティア室を利用。

◇運営（シフト 等）

- ・ 活動日を決めて活動している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年度当初に年間の活動計画を話し合う。
- ・ 活動日誌を作成。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 群馬県ホームページ等に掲載。
- ・ 選考基準は特に設けていない。
- ・ 定年、任期はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している（費用は館が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動するメンバーが固定化してきている。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：⑤ティーサービス

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 17 名（2005 年 4 月）

◇活動内容

- ・ 館内の和室で来館者に抹茶や煎茶のサービスを行う。

◇活動日

- ・ 企画展、特別展開催期間中の日曜日と祝日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 他のボランティアと共同のボランティア室を利用。
- ・ 茶道具の貸与。

◇運営（シフト 等）

- ・ 4 班に分かれてローテーションを組んでいる。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 随時連絡会を実施。その他活動日誌を作成している。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 群馬県ホームページ等に掲載。
- ・ 選考基準は特に設けていない。
- ・ 定年、任期はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している（費用は館が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：⑥イベント補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 11 名（2005 年 4 月）

◇活動内容

- ・ 他のボランティアと共同のボランティア室を利用。

◇活動日

- ・ 不定期（館の主催する行事で駐車場整理が必要なとき）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 他のボランティアと共同のボランティア室を利用。

◇運営（シフト 等）

- ・ 連絡網を作り連絡調整を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 活動日誌を作成。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 群馬県ホームページ等に掲載。
- ・ 選考基準は特に設けていない。
- ・ 定年、任期はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している（費用は館が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：⑦広報

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 27 名（2005 年 4 月）

◇活動内容

- ・ 館から自宅に送付されたポスター・チラシ等を使って事業の広報活動を行う。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ ホームページ等で随時募集。
- ・ 選考基準は特に設けていない。
- ・ 定年、任期はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している（費用は館が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 近隣地域のみでなく幅広い地域で広報活動が行えるようになった。

.....

館園名 : 群馬県立歴史博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1979年10月00日

所在地

- ・ 〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1

公式サイト

- ・ <http://www.grekisi.gsn.ed.jp/>

設立主体

- ・ 群馬県

運営主体

- ・ 群馬県教育委員会

設立目的

- ・ 明治100年記念事業の一環として、群馬県地域の歴史を概観して、地域の発展の姿を理解し、未来を展望するのに必要な学習を行う郷土歴史博物館として開館。

展示概要

- ・ 国および県指定重要文化財を含む、約83,000点の資料を収蔵。
- ・ 常設展示は、「人々の暮らし」「政治・経済のあゆみ」「文化遺産」を柱に、各種の実物資料、模型・写真・図表など、系統的に約1,500点を展示。
- ・ 群馬県地域の歴史と変遷と発展に関する資料を、考古、歴史、美術工芸、民俗の4部門に分けて収集・保管。

活動概要

- ・ 講演会、講座、体験学習等。
- ・ 年報、紀要、調査報告書を出版。

延床面積

- ・ 7,348.85㎡

全職員数

- ・ 22名

年間運営費

- ・ 137,515千円

総資料点数

- ・ 83,305点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：群馬県立歴史博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ ボランティア活動を希望する県民に対して、ボランティア活動の機会を提供するとともに、協力をお願いすることにより、県民の参画による開かれた博物館づくりの推進を図ることを目的としている。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 105名（2004年）
- ・ 男性：49名、女性：56名（2004年）
- ・ 平均年齢52.9歳：男性59.6歳、女性46.8歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：総務普及グループ 担当人数：常勤2名・その他（嘱託職員）2名

活動の種類

- ・ ①体験学習の準備・指導、②ミュージアムスクールティーチャー、③広報物発送作業。

活動その他

- ・ 開館日に活動。
- ・ 随時募集。

関連する出版物

- ・ 「歴博ボランティアだより」（月刊）

関連するHP

- ・

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 公民館事業の実施（合同実施）。
- ・ 県生涯学習センター主催事業に参加。

活動個別シート ①体験学習の準備・指導

◇活動開始年

- ・ 1996 年

◇活動人数

- ・ 105 名（2004 年）（他に、夏休み学生高校生ボランティア 23 名）

◇活動内容

- ・ 館で実施する体験学習の準備および指導。

◇活動日

- ・ 休館日を除く毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 作業エプロンを支給。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1 日、5～8 名程度（前月の 20 日までに、希望をまとめ調整）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 実技講習会、研修会、新年会等を実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年に数回、新聞・公共施設へのチラシで広報。
- ・ 随時募集。
- ・ 条件：月に 1 回以上活動できる方。
- ・ 人数、任期制限なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 実技講習会（年 6 回）、館外研修（年 1 回）、展示解説会（年数回）、講演（年 1 回）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 企画展招待券を配布。

◇評価

- ・ 4 年以上、100 回以上の活動、または通算 60 回以上の活動で感謝状を贈呈。

◇課題と展望

- ・ 連日の指導に備え、人数を確保したい。
- ・ 学生・高校生のボランティアを拡充することが課題。

◇その他

- ・

活動個別シート ②ミュージアムスクールティーチャー

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 32名(2004年)

◇活動内容

- ・ 小学生対象の系統的な体験学習講座の準備および指導。

◇活動日

- ・ 年間5日間。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 作業エプロンを支給。
- ・ 飲料水を支給。

◇運営(シフト 等)

- ・ 1回につき、20名程度。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 4月に、新聞、各小中学校へのチラシで広報。
- ・ 任期1年。
- ・ 条件：教職員を目指す学生等。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 実技研修期間中に、1回実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 作業エプロンの支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 人数を確保したい。

◇その他

- ・

活動個別シート ③広報物発送作業

◇活動開始年

- ・ 1996 年

◇活動人数

- ・ 11 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 関係機関に発送するチラシ等の発送準備。

◇活動日

- ・ 年数回。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 1 日 5 名程度。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年に数回、新聞・公共施設へのチラシで広報。
- ・ 随時募集。
- ・ 人数、任期制限なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 企画展招待券を配布。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 高崎市歴史民俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1978年10月01日

所在地

- ・ 〒370-0027 群馬県高崎市上滝町 1058

公式サイト

- ・ <http://www.city.takasaki.gunma.jp/soshiki/rekimin/>

設立主体

- ・ 高崎市

運営主体

- ・ 高崎市

設立目的

- ・ 高崎市の歴史と民俗を保存するため設置。展示活動により市民に開示。また教育普及にも努める。

展示概要

- ・ 歴史では、近隣の元島名将軍塚古墳（4世紀末）、高崎城（江戸時代）の紹介。
- ・ 民俗では、農具館において高崎型鋤、教育資料、ちゃぶ台の記憶の紹介。
- ・ その他、年3～4回の展示企画。

活動概要

- ・ 木製高機により機織りの体験、いろりの部屋における灯りの実験、洗濯のコーナーによる昔の洗濯体験、秋季は千歯扱きの体験など。

延床面積

- ・ 763.63 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 3名（2005年3月現在）

年間運営費

- ・ 円（ 年度）

総資料点数

- ・ 約16,000点（2005年3月現在）

施設その他

- ・ 資料館本館の外に農具館を設置（2005年）。

2. ボランティア活動 名称：機織り伝承者
※呼称。特に名称はない。

活動目的・経緯

- ・ 高崎地方に江戸期より広く使用されていた木製高機（たかばた）を使った機織り技術の伝承。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 3名（2005年3月現在）
- ・ 男性：1名、女性：2名
- ・ 平均年齢59歳：男性68歳、女性50歳

ボランティア担当職員（2005年3月現在）

- ・ 部局名称：事務局（時に担当なし）
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 機織り。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 文化財ガイド

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1990 年

◇活動人数

- ・ 3 名（2005 年 3 月現在）

◇活動内容

- ・ 機織り。

◇活動日

- ・ 平日（ボランティアなので拘束力はない）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 高機専用の体験学習室。

◇運営（シフト 等）

- ・ 資料館事務局。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 市広報。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険。

◇評価

- ・ 伝承者の育成を図り、他の館等の機織り技術者との交流を考えている。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 館林市立資料館

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1978 年 11 月 01 日

所在地

・ 〒374 -0018 群馬県館林市城町 3-1 (第一資料館)
2-3 (第二資料館)

公式サイト

・ <http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/bunka/index.htm>

設立主体

・ 館林市

運営主体

・ 館林市教育委員会文化振興課

設立目的

・ 館林の遺産を受け継ぎ、歴史や文化を後世に伝える。

展示概要

・ 第一資料館では、館林にまつわる古代から戦国・江戸・近現代の貴重な文化財の収集保存、調査研究、展示活動を行う。第二資料館では、館林の歴史的建造物を敷地内に移築。旧上毛モスリ事務所 (群馬県指定重要文化財) と田山花袋の旧居 (市指定史跡) がある。

活動概要

・ 収蔵資料展のほか、特別展の開催など。

延床面積

・ 516.93 (第一資料館)、3,770.04 (第二資料館敷地面積) m²

全職員数 (常勤職員)

・ 名 (年 月現在)

年間運営費

・ 6,168,444 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 10,059 点 (2004 年 12 月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：館林文化財ボランティアの会

活動目的・経緯

・館林市教育委員会主催の平成 5 年度市民ボランティア育成講座の受講生の中の有志が文化財の学習を続けると共に、保護や普及等の実践活動に自主的に参加することにより郷土の文化振興の一助になれたらと、平成 6 年度同会を発足。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 14 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 9 名、女性： 5 名
- ・ 平均年齢 65 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称： 館林市教育委員会文化振興課
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 解説案内。
- ・ イベントの企画・開催。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・資料館における活動のみではなく、市内の文化財の保護・普及活動を行っている。本年度は新たに一般公開となった「武鷹館」の管理・普及に力を注いでおり、資料館でのイベントは行ってない。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www.city.tatebayashi-gunma.jp/bunka/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：解説案内

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 14 名（ 17 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 資料館他の解説案内を行う。

◇活動日

- ・ お客様より解説希望のあった日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 年会費一人 1,000 円。

◇運営（シフト 等）

- ・ 会長が手配。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 例会を定期的を実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集チラシの配布などにより、随時募集。任期二年（役員）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 他市のボランティア活動状況の視察研修や交流会を行っている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。（会費より）

◇評価

- ・ 市政功労表彰、社会教育功労者表彰を受賞。

◇課題と展望

- ・ 解説を行うメンバーが固定化してきており、ほかの会員も負担できるようにしていきたい。

◇その他

- ・

活動個別シート② 活動名：イベントの企画・開催

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 14 名（ 17 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 資料館における講演会や喫茶サービスの企画・開催。

◇活動日

- ・ ゴールデンウイーク期間他。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 喫茶サービスの売り上げをイベントの運営に当てている。

◇運営（シフト 等）

- ・ 会員同士で相談。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 例会を定期的を実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集チラシの配布などにより、随時募集。任期二年（役員）。
- ・ イベント周知の際に同時によびかける。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 他市のボランティア活動状況の視察研修や交流会を行っている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。（会費より）

◇評価

- ・ 市政功勞表彰、社会教育功勞者表彰を受賞。

◇課題と展望

- ・ 本年度は他の活動に重点を置いたため、実施されていない。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 中之条町歴史民俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1982年11月6日

所在地

・〒377-0424 群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町 947-1

公式サイト

・<http://www.town.nakanojo.gunma.jp/>

設立主体

・中之条町

運営主体

・中之条町教育委員会

設立目的

・郷土の歴史と文化に関する理解を深め、教育、文化の発表に寄与するため設置。

展示概要

・縄文・弥生文化の石器や土器、古代の銅印、中性の武具や刀、明治以降の文物や青い目の人形、生活民具など中之条町に関する資料約 6,000 点を収蔵し、時代ごとに分かれた展示室で公開している。

活動概要

- ・年に 3～4 回の企画展を開催。
- ・文化講演会・歴史講座・古文書解読講座、地域の歴史散歩などを開催。
- ・資料館報の発行。

延床面積

・1366,95 m²

全職員数（常勤職員）

・4 名（2004 年 12 月現在）

年間運営費

・28,600,000 円（2003 年度）

総資料点数

・30,000 点（2004 年 12 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：古文書整理

活動目的・経緯

・館では長年に渡り「古文書解説講座」を開催している、古文書解説に力をつけた受講生に呼びかけて館所蔵の未整理古文書のデータベース入力前の調査票作成を依頼している。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 8名（2005年1月現在）
- ・ 男性：5名、女性：3名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 古文書整理。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①古文書整理

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 8 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 古文書の調査票作成。

◇活動日

- ・ 毎月第二日曜日の午後。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 月 1 回の活動を増やしたい。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 水と緑と詩のまち前橋文学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1993 年 09 月 03 日

所在地

・ 〒 371 - 0022 群馬県前橋市千代田町 3-12-10

公式サイト

・ <http://www.city.maebashi.gunma.jp/>（前橋市ホームページ）

設立主体

・ 前橋市

運営主体

・ 前橋市

設立目的

- ・ ①萩原朔太郎、郷土の詩人の業績の顕彰と普及。②調査、収集、展示活動の展開。
- ・ ③学・社の連携。④市民の芸術文化、学習活動の支援。

展示概要

- ・ 萩原朔太郎や、その他郷土の文化、ゆかりの詩人たちに関する資料を収蔵。
- ・ 展示室にて、テーマ別に資料を展示。

活動概要

- ・ 企画展示室にて企画展を開催。「朔太郎展示室」など常設展示。
- ・ ホールにてコンサートや上映を行う。オープンギャラリーを市民に貸し出し。資料閲覧室にて資料の閲覧可能。映像展示室にて、詩人の紹介など。研修室を利用可能。
- ・ 文学館ショップ、喫茶室など。
- ・ 展示図録の制作。

延床面積

・ 2,540 m²

全職員数（常勤職員）

・ 13 名（ 2005 年 1 月現在）

年間運営費

・ 44,768,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 18,711 点（2004 年 3 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：前橋文学館友の会解説ボランティア部会

活動目的・経緯

- ・文学館の事業の支援を行うと共に、広く会員の知的・文化的生活向上に資するもの。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 約 15 名（ 年 月現在） *詳細は不明。
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 常設展示室の解説。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ ボランティアの養成から実際の活動にいたるまですべて友の会は自主的に運営されている。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

活動個別シート① 活動名：前橋文学館友の会解説ボランティア部会

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 約 15 名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・ 常設展示室の解説活動
- ・ 年間を通しての学習活動

◇活動日

- ・ 年間解説実施日数 201 日

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 解説ボランティア控え室

◇運営（シフト 等）

- ・ 解説ボランティア部会の月一回の全体会議の中で各自月 2～3 回の解説活動のシフトを組む。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 各解説ボランティアの方々は、前橋文学館友の会のほかの学習推進部会にも所属している。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 1995 年、1997 年、2001 年と過去に三回友の会による解説ボランティア養成講座が行われ、半年間に渡り、10 回程度の研修を行った後、終了レポートを提出し、認定証が授与されて解説員となる。任期は特にない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 解説ボランティア養成講座以外にも、各自が自主的に学習活動をしている。
- ・ 月一回のボランティア部会の全体会議は、学習会としての性格ももっている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 特になし。友の会の特典として、①文学館の事業案内等の配布②文学館の観覧料金の割引、がある。
- ・ 友の会の予算で、ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 団体客の視察を始め個人客への解説を年間開館日の 65%（2004 年度実績）にわたり行ってくださり、文学館に対する功績は非常に大きいものがある。

◇課題と展望

- ・ 友の会全体の課題として、会員の増加および若年層の獲得。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 向井千秋記念子ども科学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1991年5月5日

所在地

・〒374-0018 群馬県館林市城町2-2

公式サイト

・<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/kagakukan/>

設立主体

・館林市

運営主体

・館林市教育委員会

設立目的

・次代を担う青少年の未知への夢を育み、健全な発達を図るため、また、市民の教養と文化の向上のため、「青少年に夢を」をテーマに設立。

展示概要

・向井千秋宇宙飛行士関連資料、及び体験の世界、観察の世界、応用の世界をテーマとした科学展示。

・プラネタリウム、天体観測室。

活動概要

・科学クラブ、科学講座、理科工作教室、自然学習会等、普及事業の開催。

延床面積

・4,976 m²

全職員数（常勤職員）

・13名（2004年4月現在）

年間運営費

・185,000,000円（2003年度）

総資料点数

・ 点（ 年 月現在）

施設その他

・館林市子ども科学館として会館。

1991年4月、現在の館名に変更。

2001年3月、一部リニューアル。

2. ボランティア活動 名称：向井千秋記念子ども科学館ボランティア友の会

活動目的・経緯

・2003年設立。科学会友の会、科学館ボランティアなど、科学館を拠点に活動していた人たちが集まり現ボランティア友の会となる。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・45名（2004年12月現在）
- ・男性：18名、女性：27名
- ・平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・部局名称：事業係
- ・担当人数：常勤職員2名・その他（ ）名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・展示解説。
- ・館の事業補助。
- ・工作教室などの開催。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・年に1度総会、月に1度役員会を開催。
- ・年に1度、ボランティア友の会フェスティバルを開催。
- ・月例研修会を開催。

関連する出版物

- ・なし。

関連するHP

なし。

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・管理用団体も団体会員として入会。